

令和8年度 学校自己評価システムシート（さいたま市立川通中学校）

学校番号 250

【様式】

学 校 教 育 目 標	「向学 自立 協働」
目 指 す 学 校 像	「活気にあふれ、あいさつがとびかう明るい学校」「学ぶ喜びを実感できる学校」「安全を意識して、安心感をもって生活できる学校」
重 点 目 標	1 ICT を効果的に活用し、人との関わりを相互に関連させ、学びの質を高め、学力の定着を図る。 2 積極的な生徒指導ときめ細かな教育相談体制の充実 3 信頼され、地域とともにある学校づくりの推進 4 安全を意識して、安心感をもって生活できる学校づくり 5 指導力を持ち、信頼関係を基盤にした教育活動に取り組む教職員の資質向上

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、
方策の評価指標」を設定。

達	A	ほぼ達成	（8割以上）
成	B	概ね達成	（6割以上）
度	C	変化の兆し	（4割以上）
	D	不十分	（4割未満）

学 校 自 己 評 価								学校運営協議会による評価	
年 度 目 標				年 度 評 価				実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	(現状) ○令和7年度全国学力・学習状況調査：全国平均正答率において、国語、数学、理科において下回っている。 ○令和7度さいたま市学習状況調査：2年生は国語、数学、社会の平均が市を下回っているが、理科の平均は市を上回っている。 ○令和7度さいたま市学習状況調査：主体的対話的で深い学びの質問項目の回答の数値をみると自分の考えを表現・発信する力や振り返る力に課題がある。 (課題) ○学習習慣と学習方法を身に付けることで、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。 ○定着した知識・技能を、「なぜ」「どうして」と考え、説明・応用できる深い理解へとつなげる。	・生徒の学びの実態を把握し、それを踏まえた個別最適な学びを充実させる。	・学習状況や振り返りのデータを可視化・分析し、授業改善と個に応じた指導の充実を図る。 ・学習アプリ等を活用し、理解度や進度に応じた個別最適な学習を推進する。 ・川通チャレンジカップを年3回実施し、主体的に学びに向かう態度を育成する。	・学校評価の「家庭学習や基礎学力の定着」に関する項目の肯定的回答が昨年度を上回ったか。 ・基本事項の定着や授業の振り返りを継続的に行い、生徒一人一人の学習への取組状況を把握し、努力を適切に承認できたか。					
2	(現状) ○令和7年度学校評価：生徒「あいさつを積極的にやっているか」A 評価 68.2%、「十分な睡眠をとり規則正しい生活を送っているか」A 評価 38.5% ○令和7年度さいたま市学習状況調査：生徒「将来の夢や目標を持っているか」の質問項目の肯定的な回答 68%(市 73%)、「自分の将来の夢や目標に向かって生活や学習の仕方を工夫しているか」の質問項目の肯定的な回答 89%(市 85%) ○令和7年度学校評価：「本校教員は困ったことや悩んでいることがあった場合親身になって相談に乗ってくれるか」生徒 A 評価 66.7%、保護者 A 評価 28.9% ○生徒指導や教育相談に関する対応について、該当学年を中心に組織的に迅速に対応している。 (課題) ○進路に対して考えているが具体的なビジョンについては乏しい。 ○良い考えは持っているが、自分の思いや考えを相手に伝えることに課題がある。 ○配慮を要する生徒個々への対応。 ○個に応じた支援や相談体制のより一層の確立。	・エージェンシーを発揮しながら、夢に向かって活躍できる生徒の育成。	・社会生活に必要なコミュニケーション能力、基本的生活習慣を様々な教育活動や地域等との関わりを通して培っていく。 ・将来の社会的・職業的自立に向けた必要な基盤となる能力や態度を、カリマネデザインマップを活用するなど領域のみならず、教科横断的計画し、キャリア教育を進めていく。	・学校評価（生徒・保護者）の「あいさつ」「規則正しい生活」に関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ・市学力状況調査の生徒質問紙で「将来に関する意識」や「キャリア教育」の項目の平均数値が、昨年度よりも上昇している。 ・生徒が自分で考え、選び、行動できる力、振り返り、改善する力が高まっている。					
3	(現状) ○令和7年度学校評価：生徒「あいさつを積極的にやっているか」A 評価 68.2%、「十分な睡眠をとり規則正しい生活を送っているか」A 評価 38.5% ○令和7年度さいたま市学習状況調査：生徒「将来の夢や目標を持っているか」の質問項目の肯定的な回答 68%(市 73%)、「自分の将来の夢や目標に向かって生活や学習の仕方を工夫しているか」の質問項目の肯定的な回答 89%(市 85%) ○令和7年度学校評価：「本校教員は困ったことや悩んでいることがあった場合親身になって相談に乗ってくれるか」生徒 A 評価 66.7%、保護者 A 評価 28.9% ○生徒指導や教育相談に関する対応について、該当学年を中心に組織的に迅速に対応している。 (課題) ○進路に対して考えているが具体的なビジョンについては乏しい。 ○良い考えは持っているが、自分の思いや考えを相手に伝えることに課題がある。 ○配慮を要する生徒個々への対応。 ○個に応じた支援や相談体制のより一層の確立。	・エージェンシーを発揮しながら、夢に向かって活躍できる生徒の育成。	・社会生活に必要なコミュニケーション能力、基本的生活習慣を様々な教育活動や地域等との関わりを通して培っていく。 ・将来の社会的・職業的自立に向けた必要な基盤となる能力や態度を、カリマネデザインマップを活用するなど領域のみならず、教科横断的計画し、キャリア教育を進めていく。	・学校評価（生徒・保護者）の「あいさつ」「規則正しい生活」に関する項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ・市学力状況調査の生徒質問紙で「将来に関する意識」や「キャリア教育」の項目の平均数値が、昨年度よりも上昇している。 ・生徒が自分で考え、選び、行動できる力、振り返り、改善する力が高まっている。					
4	(現状) ○さいたま市学力状況調査質問項目で「交通ルールを守っているか」の肯定的な回答は全学年 100%である。昨年度は自転車に起因する他者との大きな交通事故は起きていない。 ○学校評価「防災への意識」生徒の A 評価 63% ○校舎内外施設の老朽化が目立つ。 ○学校の緑化や美化については生徒、保護者ともに良い印象を持っている。 (課題) ○自転車の乗り方のマナー指導の徹底をはじめ、学校周囲の環境に関わる安全指導の必要性。 ○学校施設の安全点検と危険箇所等の迅速な対応 ○有事における生徒及び教職員の行動。	・安全安心な教育環境の整備及び適切な学校管理	・複数の目を通して、校舎内外の危険箇所を目視、触手にて安全確認し危険と箇所、破壊箇所は迅速に対処する。 ・警察署監修の防犯訓練を実施する。 ・季節の花が咲き、心潤う環境を整備する。 ・日々の清掃活動の充実	・安全点検を確実に実施し、素早い修繕ができたか。 ・有事を想定した防犯訓練を実施できたか。 ・1年間を通して、季節の花や緑が絶えないようにすることができたか。また、美しい環境を維持できたか。					
5	(現状) ○教職員学校評価：「学校課題研究の効果的実施」「校内研修の効果的実施」：肯定評価平均94%以上だがA評価の割合は平均すると、およそ18%である。 ○教職員のキャリア平均年数が若い。 (課題) ○全教職員で取り組む学校課題研究等での新たな学び合いと教職員の資質・組織力の向上。 ○キャリア年数の少ない教員への指導法の継承。 ○働き方改革をさらに推進し、教職員の負担感の減少。	・指導力を持ち、信頼関係を基盤にした教育活動に取り組む教職員	・講師を招聘して、キャリア教育研修を実施し、研究を推進し、市全体に発表する。 ・管理職による授業観察と交流を通して、授業改善を図る。 ・在校時間システムの集計結果を基に月ごとの仕事量を振り返り、計画的かつ健康的に仕事に取り組む。 ・メンター、メンティの関係を充実させ、いつでも相談できる温かい職場環境とする。	・キャリア教育の研究を通して、教職員が指導力を高めることができたか。 ・学校評価（教職員）「校内研修」「目指す教師像」の項目で肯定的な回答が昨年度を上回ったか。 ・学校評価（教職員）「業務改善」の項目で、A 評価が昨年度を上回ったか。 ・ストレスチェックの集団分析の健康リスクの数値が昨年度よりも改善されている。					

学びの質の向上に
関する取組

子どもの発達や
サポートに関する取組

地域とともにある
学校づくりに関する取組

教育環境の整備に
関する取組

教職員のキャリア形成に
関する取組